

キャラクター名	プレイヤー名
クロ・フォン・エイミヤ	

メインクラス	ウォーロード	Lv.1:	ウォーリア	レベル	11
サポートクラス	シーフ	Lv.1:	アルケミスト	性別	女性
称号クラス				年齢	14歳
種族	ヒューリン			境遇	記憶喪失
出自(効果)	一般人			目標	復讐

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	25	25	18	8	16	8	9
ボーナス	8	8	6	2	5	2	3
クラス修正	2	3	2	0	1	0	0
他修正							
能力値	10	11	8	2	6	2	3

HP	131
MP	75
フェイト	4

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ボーンシールド		0	0	0	8	0	-2	0
左手									
頭部	闘士のバンダナ		1			3			-1
胴部	テゲベックの鎧				-1	9			-1
補助	深紅の腕輪		1		-1	4	-1		
装身具	ファイターズジュエル								
能力値			11	0	8	0	2	14	15
スキル									
その他	ギルドサポート：高機動部隊							5	
総計(右)			13	0					
総計(左)			13	0	6	24	1	17	13
総計(両)									m
ダイス数			4 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	6			6	+ 3 d
トラップ解除	11			11	+ 2 d
危険感知	6			6	+ 3 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	万能薬×1
異次元バック	結界紋×2
ドレスブック	炎熱の砥石
転送石×1	俊足のブーツ
調理用具	
ポーションホルダー	
ハイHPポーション×3	
ハイMPポーション×3	
EXHPポーション×4	
EXMPポーション×1	
アンチポーション：火・水×1	

現在重量：	32	所持金：	61850	預金・借金：	
最大重量：	40				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オールラウンド	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：	キャラ作成時に任意の3つの能力基本値+1							
バッシュ	3	4	メジャー	武器	単体	命中	5	
効果：	武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]							
スラッシュブロー	3	3	ダメージ直前	-	自身	自動成功	3	
効果：	武器ダメージに+SL×2d							
ボルテクスアタック	1	-	効果参照	-	自身	自動成功	1	
効果：	武器攻撃と同時使用、対象：単体へ変更しダメージに+CL×10							
ウェポンクリエイト	5	7	マイナー	-	自身	自動成功	5	
効果：	短剣、長剣、斧、打撃、槍、鞭、刀を一つ作成、レベル1、重量0、命中±0、攻撃力+器用+SL×2、行動修正±0、至近、片手							
アーマーフォージ	5	6	メジャー	-	自身	錬金術	5	
効果：	物理・魔法防御のどちらかを+SLd							
クイッククリエイト	1	5	セットアップ	-	自身	自動成功	3	
効果：	ウェポンクリエイトと同時使用。1シーンSL回							
クイックフォージ	1	3	セットアップ	-	自身	自動成功	3	
効果：	フォージと同時使用。1シーンにSL回							
アームズマスタリー：錬金術	1	-	パッシヴ	-	自身	-	1	
効果：	錬金術武器の命中+1d							
ウェポンフォージ	1	8	メジャー	-	自身	錬金術	5	
効果：	武器ダメージに+SLd、シーン終了まで							
エリクサー	1	-	パッシヴ	-	自身	-	1	
効果：	ポーション効果に+1d							
アイアンクラッド	1	3	ダメージ直前	-	自身	自動成功	5	
効果：	物理ダメージに-SL×3							
シンセサイゼーション	1	5	ムーブ	-	自身	自動成功	1	
効果：	1アクションでポーションを2個使用可、ダメージ終了まで							
オルタナティブウェポン	1	4	マイナー	-	自身	自動成功	1	
効果：	武器ダメージを無属性魔法ダメージに、ダメージ終了まで							
インビジブルアタック	1	3	マイナー	-	自身	自動成功	1	
効果：	ダメージ終了まで白兵攻撃の命中に+1d							

急に飛び出したのは流石に無謀だったかもしれない。ようやくのこと、クロは後悔の弱音を汗と共に滲ませた。クロは記憶を失っていた。いや、より正確に言えば、記憶の一部が欠落していた。村で穏やかな幼少の日々を過ごしていたのは覚えている。だが——そのあと半年前までの記憶が、ない。気付けば兄と一緒に協会の孤児院にいた。兄だけは、記憶の中の面影と重なっていた。兎角、そんなアクシデントはあったものの、二人は孤児院で周りと打ち解けながらゆっくりとした日々を過ごしていた。しかし、ちょうどその頃から、決まって夢を見るようになった。起きた時には寝汗をかいてるくらいだから、いい夢とはきっと言えないだろう。それでもちょっと引掛かることはありながらも、退屈な日常を過ごしていた。「あなたの悩みを解決するには西へ行くといい」そんな古い師の言葉に、何故従ってみようと思ったのか。ともあれ、クロは孤児院を出ることを決意した。大手を振って行くのも憚られるから、こっそりと。「全く、危ないじゃないかー人じゃ。女の子なんだから」何故か、兄にはバレていたけれど。振り切るのも可哀想なので二人で向かうことにした。西へ。西へ。そこで、私の望みは叶うのだろうか——。

「……ところで、クロ。旅費が、尽きた」「えっそう？ 何で!?」「スラれたかなあ。前の国で稼いだ三万Gは確かに残ってたはずなんだけど」「そ、そう。それじゃあ仕方ないわね。はあ……。じゃあ、調べ物ついでにバイトしなくちゃ」「そうだな。次の国に着いたらしばらく滞在しようか」「えーっと、次の国は何だっけ?」

